

## 推薦入試の状況

10月に入り、続々と総合型選抜や学校推薦型選抜の出願が始まっています。3年次の生徒が志望理由書や面接練習に励んでいる姿を日々見ます。1・2年次の皆さんの中には未だに「推薦って学力テストなしだからちょっと楽そう、、、」「どうせ一般でも受けるからついでに受けるかあ、、、」という人もいるかもしれません。そんな人に伝えたいです。「推薦はしんどい！！」

日々苦勞している3年生を見て、どこがしんどいのかをお伝えできたらと思います。

### ①志望理由

ほとんどの大学・専門学校が提出を求めるのが志望理由書（志願理由書）です。「なんとなく入れたらいいなあ」「有名大学だから行きたいなあ」「〇〇学部ならどこでもいいかなあ」くらいの思いで準備にかかると大変苦勞します。なぜその学校の学部学科で学びたいのか、なぜそこでなければならぬのかというのを明確に持っている人ではないと志望理由書を書く時も、面接対策をする際も**必ず**苦勞します。また、そのためには自分の将来像を明確にしなければなりません。あまり良くない例を紹介します。

×【1】私の将来の夢は高校の保健体育の教員になることです。×

×【2】経済学について学んで、将来やりたいことを見つけたいです。×

【1】は教員になることが目標になっています。「どのような保健体育教員になりたいのか」を準備する必要があります。保健体育科の教員免許状を取れる大学は日本に山ほどあるので、大学側（試験官）がその理由を聞いても「別の大学でもいいじゃん」となるわけです。これを「**私は運動が苦手な生徒にもスポーツの楽しさや素晴らしさを伝えることができる保健体育科教員になりたいです。**」とすれば、「そのために、運動が苦手な生徒は何でつまづくのかを運動力学の観点から理解できるようになりたいと考えた→運動力学界で有名な〇〇教授のいる貴学に行きたい。」と繋げることが出来ます。そこでしか学べない事・得られない事が自分の目標にマッチしているかはとても重要です。

【2】は将来の目標ややりたい事がまだ見つかっていない人が書いているような文です。各学校が求めているのは卒業まで学び通してくれる人です。そこで学んだことを社会に出て発揮してほしいのです。特別な理由なく、在学中にやりたいことが見つからずに意欲が低下して、途中でやめる人は求めていません。故に推薦で受ける人は何がしたくてそこに行きたいのかを明確にもっている必要があります。【2】の文のような状態の人は推薦ではなく、一般選抜で目指している学校に入ってください。頑張ってください。

また、指定校推薦を受ける人もこの志望理由に苦慮しています。受験を決めたものの、やはりその大学・学校でなければならぬ理由を明示することは大変です。指定校だからといって合格率は100%ではありません。しっかりとした志望理由を準備する必要があるのは、どの推薦入試でも

共通していえる事です。

## ②小論文

推薦での入試に多く採用されている入試科目の一つに小論文があります。時間内に各大学の学部に応じた内容を記述することになりますが、800字や1200字などの長文を書くこととなります。「そもそも文章を長文で書くのが苦手」という要素と「各分野においての知識が足りない」要素のダブルパンチでしんどい思いをする人が多いです。

## ③何度も繰り返し行う対面指導

出願が決まると担当の先生のもとに赴き、指導を受けることとなります。そしてその初回の指導で志望理由や小論文対策など自身のやるべき事の多さにほとんどの人が面くらうこととなります。指導を何回にも渡って受けるのは忍耐力が必要となります。粘り強く、進んで自ら添削やブラッシュアップに励む人ほど合格に近づきます。新庄北高の先生は皆さんの合格に向けて協力は惜しみません。

## ④共テ・一般選抜対策との同時進行

以下は学校推薦型選抜に向けて頑張っている生徒と先生の会話です。

生徒「推薦がこんなにつらいと思いませんでした、..」

先生「なにがつらいの？」

生徒「寝る間も惜しんで志望理由とか作っても報われるかわからないってことがつらいんですよ！」

先生「一般選抜も同じだけどねえ」

生徒「共テとか一般のための勉強も並行してやらなきゃいけないのがつらいです(泣)」

この間の水曜日に話されていた内容です。推薦入試のガイダンスでも紹介する内容ですが、推薦入試を受ける人は推薦と一般の二系統の努力を並行して行わなければなりません。これが非常に大変です。場合によってはどちらも中途半端になりえます。そうならないための忍耐力・我慢強さ・根性が必要になってきます。入試は気力・体力勝負といわれるのはここにも関係してきます。1・2年次の皆さんは日々の活動でこれらの気力・体力を養いましょう。

推薦を受けるために、上に書いたもの以外にも様々なしんどい事と戦っている人がいます。「楽な

入試などない！！」これに尽きます。既に戦っている生徒がいるということを再確認し、新庄

北高全体で受験に向かう雰囲気づくりをしていきましょう。努力は必ず力になります。1・2年次の皆さんは今できる事をコツコツと。3年生の皆さんは今やれることを猛烈にやる。頑張れ新庄北高生。